


中国十大品牌教育集团 中国十佳网络教育机构



- 自考名师全程视频授课，图像、声音、文字同步传输，享受身临其境的教学效果；
- 权威专家在线答疑，提交到答疑板的问题在 24 小时内即可得到满意答复；
- 课件自报名之日起可反复观看不限时间、地点、次数，直到当期考试结束后一周关闭；
- 付费学员赠送 1G 超大容量电子信箱；及时、全面、权威的自考资讯全天 24 小时滚动更新；
- 一次性付费满 300 元，即可享受九折优惠；累计实际交费金额 500 元或支付 80 元会员费，可成为银卡会员，购课享受八折优惠；累计实际交费金额 1000 元或支付 200 元会员费，可成为金卡会员，购课享受七折优惠（以上须在同一学员代码下）；

**英语/高等数学预备班：**英语从英文字母发音、国际音标、基本语法、常用词汇、阅读、写作等角度开展教学；数学针对有仅有高中入学水平的数学基础的同学开设。通过知识点精讲、经典例题详解、在线模拟测验，有针对性而快速的提高考生数学水平。[立即报名！](#)

**基础学习班：**依据全新考试教材和大纲，由辅导老师对教材及考试中所涉及的知识进行全面、系统讲解，使考生从整体上把握该学科的体系，准确把握考试的重点、难点、考点所在，为顺利通过考试做好知识上、技巧上的准备。[立即报名！](#)

**冲刺串讲班：**结合历年试题特点及命题趋势，规划考试重点内容，讲解答题思路，传授胜战技巧，为考生指出题眼，提供押题参考。配合高质量全真模拟试题，让学员体验实战，准确地把握考试方向、将已掌握的应试知识融会贯通，并做到举一反三。[立即报名！](#)

**习题班：**自考 365 网校与北大燕园合作推出，共计 390 门课程，均涵盖该课程全部考点、难点，在线测试系统按照考试难度要求自动组卷、全程在线测试、提交后自动判定成绩。我们相信经过反复练习定能使您迅速提升应试能力，使您考试梦想成真！[立即报名！](#)

**论文答辩与毕业申请指导班：**来自主考院校的指导老师全程视频授课，系统阐述申报自考论文的时间、论文的选题、论文的格式及内容、与导师的沟通技巧等，并提供论文范例供学员参考。[立即报名！](#)

**自考实验班：**针对高难科目开设，签协议，不及格退还学费。全国限量招生，报名咨询 010-82335555 [立即报名！](#)

浙江省 2008 年 1 月高等教育自学考试  
日语阅读（二）试题  
课程代码：00844

一、次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。(25点)

日本の正月で、人の目を驚かせるのが初詣の光景である。全国の有名な寺や神社に、老若男女を問わずおびただしい数の参拝客(もしくは観光客)が着飾って押し寄せる。健康

(a)

と家内安全、豊年と社会の安寧を祈る人がいる。神社でおみくじを求め、その年の自分の運勢を占う人がいる。餅を食べ酒をのみ、晴れ姿で気分を一新し、新年の感触を楽しむ人

(b)

もいる。正月はもっとも盛大に祝われる国民的休日であり、古い年の記憶や汚れを洗い流して新しい年の幸運や希望を招き寄せようとする年の始めなのである。(ア)カミとホトケの前で祈願を捧げて、生命の更新と運命の改善を期待する宗教的行事であるのだが、同時に家族や友人と団らんし、神社や仏閣で行われる伝統的な行事を楽しむ物見遊山の機会でもあった。

日本の正月行事は中国大陸や朝鮮半島と共通するところがすくなくないが、南アジアや東南アジアでは正月行事にあたる祝祭的なお祭りは他の月におこなう場合が多い。日本では、年の暮から元旦にかけて、カミが訪れてくるという信仰が昔からあった。一般に平野部においては、それは山から訪れると考えられ、海浜部では海の彼方から訪れてくると信じられていた。

山からののは山の神と呼ばれ、歳神やトシドンなどとも呼ばれた。海からののは、(イ)秋田県のナマハゲや石川県のナマミハゲ、そして沖縄のフサマラーなどがよく知られている。これらの山の神や海の神は、民間の芸能や行事では蓑笠などで扮装した姿で登場する。そ

(c)

れがまた異様な風体で、怪奇な表情をしている場合が多い。いったいそれはどうしてなのであろうか。思うに、山や海の彼方からやってくる来訪神は、(ウ)はわれわれの先祖であった。この世で死んだ者が山や海に去り、一定の期間をへたのち、祖霊やカミとなって再びこの世を訪れる。要するにそれは死者の生まれ変わりなのであるから、怪異な姿に身をやつしているのである。ときにその来訪神が翁の姿をとっているのも、老人世代というものが、死を通してカミにもっとも近い人生段階にあると信じられていたからである。

いま、年の暮から元旦にかけてカミが訪れてくるといったが、古い時代、一日の境は夜のはじまる時刻にあると考えられていたので、年の暮の大晦日の夜が正月元旦のはじまりとみなされていた。そしてこの夜のはじまりの時刻に食事をとることが年取りのための膳とされた。その膳で食事をすることによって、年を一つ多く重ねることになると考えられたのである。深夜に日が満ち、年が改まる。ものみな寝静まった時刻に「時間」が移り、生命の新旧の交替が行われる。一日一日とそのような推移と交替を繰り返して、大晦日から元旦にかけてそのような変化の大きな区切りの日を迎える。このとき一年のツミやケガ

レが払われ、新しい生命が蘇ると信じられたのである。

(d)

問1 (a) (b) (c) (d) 下線のある語はどう読むか。その読み方を1. 2. 3. 4. から一つ選びなさい。(2点×4=8点)

- (a) 参拝客 1. さんばいきやく 2. さんばんきやく  
3. さんはいきやく 4. さんばいきやく
- (b) 占う 1. おこなう 2. うしなう 3. うらなう 4. うならう
- (c) 扮装 1. ふんそう 2. べんそう 3. ふんしょう 4. べんしょう
- (d) 蘇る 1. おぼえる 2. よみがえる 3. そる 4. おこる

問2 (ア) (イ) (ウ) こはどんな言葉を入れたらいいか。1. 2. 3. 4. の中から一番いいものを一つ選びなさい。(2点×3=6点)

- (ア) 1. たとえ 2. かならず 3. とても 4. すなわち
- (イ) 1. しかし 2. けれども 3. たとえば 4. できれば
- (ウ) 1. もともと 2. ますます 3. たまたま 4. おととおと

問3 「その膳で食事をすることによって、年を一つ多く重ねることになると考えられたのである。」下線の「によって」と同じ使い方の文を1. 2. 3. 4. の中から一番いいものを一つ選びなさい。(2点)

1. 時間によって、忙しい時もあれば、暇な時もある。
2. アメリカはコロンブスによって発見された。
3. この件は話し合いによって解決しよう。
4. 調査によると、現代人の病気の多くはストレスによって引き起こされているそうだ。

問4 人々は何のために初詣をするのか。1. 2. 3. 4. の中から一番いいものを一つ選びなさい。(3点)

1. 健康と家内安全を祈る。
2. 豊年と社会の安寧を祈る。
3. その年の自分の運勢を占う。
4. 以上すべて含まれる。

問5 「いったいそれはどうしてなのであろうか。」の「それ」は何を指すか。1. 2. 3. 4. の中から一番いいものを一つ選びなさい。(3点)

1. 民間の芸能や行事で登場する山の神や海の神は異様な風体で、怪奇な表情をしている場合が多い。
2. 山の神は登場すること。
3. 海の神は登場すること。
4. 山の神や海の神は訪れること。

問6 「大晦日の夜が正月元旦のはじまりとみなされていた」原因は何か。1. 2. 3. 4. の中から一番いいものを一つ選びなさい。(3点)

1. 大晦日の夜カミが訪れるから。
2. 大晦日の夜「時間」が移り、生命の新旧の交替が行われるから。
3. 大晦日の夜に年取りのための膳で食事をするから。
4. 古い時代、一日の境は夜のはじまる時刻にあると考えられていたから。

二、次の文章を読んで、後の間に答えなさい (25点)

敬語は必要ない、人間は (a) 平等なのに敬語を使うのは変だ、と考える人がいる。また、敬語がないほうが簡単だという考えもある。確かに敬語を [ A ] 使うのは難しい。そのため、敬語を使わなくてはいけないような場面、つまり目上の人やよく知らない人と話す機会を避ける若者も多い。その結果、敬語がますます使えなくなる。

それでは、敬語はないほうがいいのか。[ B ]、これから (b) 次第になくなっていくのだろうか。

ここに、敬語についての高校生の意識調査の結果がある。この調査 [ C ]、敬語を知っているがうまく使えないという人が多いことが分かる。しかし、高校生の多くは敬語を「人間関係をうまく調整するものだから、これからの世の中にも必要である。」と思っており、「相手を思いやる心から生まれるもの」だととらえている。そして、①大多数の人は、敬語を知らないと困ると考えている。

この結果から考えてみると、敬語は (c) 今後もなくなるとは思えない。実際、会社などでは、新入社員の研修の時に厳しく敬語をア。また、大学の中には、いい会社に就職するために、言葉遣いの (注1 トレーニング) をするところもある②そうだ。とにかく、敬語を身につけなければ社会でうまくやっていけない。では、どのようにしたら、敬語は身に付くのだろうか。

敬語は机の上では勉強できない。基本だけ覚えたら、実際にどんどん使ってみることが大切だ。間違えたらどうしようと思って、引っ込み思案にならないで、(d) 上下関係、親疎の関係のある場に積極的に出てみたらどうだろうか。

ここで③注意したいのは、敬語は言葉だけの問題ではない、ということである。敬語は相手に対する配慮を表わしたものだから、言葉だけではなく態度や行動にも イ 必要がある。部屋を出る時「ウ」と言っても、ドアをバンと大きな音をたてて閉めてしまったらいやな感じがするだろう。逆に、顔を見たらあいさつをしたり、相手の名前を覚えたりするだけで、相手に敬意が伝わり人間関係はうまく④いくこともある。まずはできるところから始めてみたらどうだろうか。

注 : 1 トレーニング 练习、训练

問1 下線 (a) (b) (c) (d) の語はどのように読むか、その読み方を a--d の中から一つ選びなさい。(1点×4=4点)

- (a) 平等 a へいとう b びょうとう c びょうどう d ひょうどう  
(b) 次第 a しだい b じだい c ちだい d したい  
(c) 今後 a きんご b いまあと c こんご d いまご  
(d) 上下 a うえした b じょうげ c じょうか d かみしも

問2 文中の [ A ]--[ C ] に入れるのに最も適当なものを a--d のから一つ選びなさい。

(1点×3=3点)

- [A] a しぜんに b しっかり c やっぱり d きちんと  
[B] a そこで b それから c そして d しかし  
[C] a によると b について c にすると d にしたがって

問3 文中のアーウに入れるのに最も適当なものを a--d のから一つ選びなさい。

(1点×3=3点)

- ア : a 練習させる b 練習される c 練習させられる d 練習する  
イ : a 気を張る b 気を付ける c 気をもむ d 気を配る  
ウ : a お邪魔します b さようなら c 失礼いたしました d ただいま  
問 4②「そうだ」の使い方と同じものを a-d の中から一つ選びなさい。

(2.5 点)

- a 机の上の本が落ちそうだ。  
b この子は顔色もいいし、元気そうだ。  
c あの大学にも日本から来ている留学生がいるそうだ。  
d 雨が降りそうだ。速く帰ろう。

問 5③「注意」の使い方と同じものを a-d の中から一つ選びなさい。(2.5 点)

- a 信号に注意しながら道を渡ってください。  
b 彼はいくら注意しても全然聞きません。  
c 王さんは人の注意を引く服装を着ています。  
d 汽車に注意してください。

問 6④「いく」の使い方と同じものを a-d の中から一つ選びなさい。(2.5 点)

- a あしたは土曜日ですから、映画を見にいこうと思います。  
b だんだん寒くなっていきます。  
c 計画通りにうまくいきました。  
d バスはいまいったばかりです。

問 7 ①「大多数の人は、敬語を知らないと困ると考えている。」理由は何か、最も適当なものを一つ選びなさい。(2.5 点)

- a 敬語を知らない、いい会社に入れないから。  
b 敬語は人間関係をうまく調整するものだから。  
c 大学入試に敬語の試験があるから。  
d 学校でいつも調査するから。

問 8 「敬語を身につける」のには一番大切なのは何だと筆者が考えているか、最も適当なものを一つ選びなさい。(2.5 点)

- a 教科書のものをしっかり覚えること。  
b 敬語の基本を覚えること。  
c 実際にどんどん使ってみること。  
d 間違えないように、気をつけて使うこと。

問 9 この文章の内容と合うものはどれか、a-d の中から一つ選びなさい。(2.5 点)

- a 敬語を身につけなければ社会でうまくやれない。  
b 敬語は態度や行動とあまり関係がない。  
c 高校生の大多数は敬語をうまく使える。  
d 敬語はこれからなくなるだろうと思う。

三、次の文章を読んで、後の問に答えなさい (20 点)

おじさんの中学生のときはどうだったろう。

いたずら好きの A と仲良しだったときがある。野球のうまい B や、頭のいい C や、家が貧しいけれどマジメな D と仲良しだったときもある。でも、クラスが変わるたびに友だちが変わっていき、①中学の三年間を通じて一人の友達と深く付き合うことはなかった。D とは夏休みにいっしょにアルバイトをやったりして「親友」みたいだったのに、いつの間にか付き合わなくなっている。

②これはだれでもそうじゃないかと思うんだ。友達は変わってゆく。その場かぎりのつきあいといえ言えなくはないけど、自分の求めているものが変わってゆくから、③相手を自然に変えてゆくのだと思う。

おじさんの場合、いたずら好きのAと仲良しだったときは、おじさんもいたずらがあった。いたずらをして気持ちがスカッとすることを求めていた。でもいたずらではほんとうに気持ちがスカッとしないことにやがて気づいて、Aとつきあわなくなった。BやCやDについても、そのときどきにおじさんが求めていたものを、彼らがあたえてくれたんだね。意識したわけじゃないけど、そのときの自分の益になる相手を求めて、付き合う相手がおのずと変わっていったのだと思う。だからといって、④こうした相手を「友達」と呼べないかという、そうではないんだね。

利己的のようだけれど、「友達」というのは自分に「益」になる相手のことなんだ。その相手とつきあうことで自分が「得」をする。しかし、その「益」なり「得」なりの中身が問題なんだね。(中略)

たった一度しか会わなくても、その影響が人生にすばらしく作用すれば、⑤これは立派な「友達」だ。実際には会わなかったって、たとえばその人のことをテレビで観たり本で読んだりしただけで、素晴らしい影響を受けたら、これは「友達」なんだね。

もっとも実際に会わなければ、厳密には「友達」とはいえないけれど、生きるうえで心に影響を受ける相手とはそう何人も出会えるものではないことも、おじさんの経験からいえる。

しかし、⑥君自身がそれを求める心構えでいなかったら、中学生のときはおろか、一生「友達」には出会えないだろう。

問1 ①「中学の三年間を通じて一人の友達と深く付き合うことはなかった」とあるが、それはなぜか。(2.5点)

- 1 野球がきらいだったから。                      2 夏休みにアルバイトをしたから。  
3 よくけんかをしたから。                      4 求めるものが変わったから。

問2 ②「これ」は何を指しているか。(2.5点)

- 1 夏休みにアルバイトをすること              2 いたずら好きなこと  
3 友達が変わること                              4 友達が多いこと

問3 だれが③「相手を自然に変えてゆく」のか。(2.5点)

- 1 だれか    2 だれでも    3 友達              4 親友

問4 ④「こうした相手」とは、この場合どんな相手のことか。(2.5点)

- 1 いつも自分の利益になる相手              2 中学時代自分の利益になる相手  
3 そのときどきに自分の利益になる相手    4 大人になってからも自分の利益になる相手

問5 ⑤「これは立派な『友達』だ」とあるが、この場合どんな意味か。(2.5点)

- 1 友達になったほうがよい                      2 友達と違ってよい  
3 友達と違ってはいけない                      4 友達にならなくてもよい

問6 ⑥「君」とはだれのことと考えられるか。(2.5点)

- 1 中学生たち                                      2 中学生の親たち  
3 筆者の昔の友達                              4 おじさんの友達だった

問7 この文章に出てくる「おじさん」とはだれのことか。(2.5点)

- 1 筆者自身    2 筆者のおじ    3 中年の男性    4 友達のおじ

問8 結論として筆者はどんな「友達」を求めるべきと言っているのか。(2.5点)

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 その場限りの友達     | 2 長く付き合っていける友達   |
| 3 経済的に助けてくれる友達 | 4 人生に影響を与えてくれる友達 |

#### 四、次の文章 1、2 を中国語に訳しなさい。(30 点)

(1)

それまでは自分の人生を無限に考え、何でもいずれはできるように思えた。旅行も著述も技能の習得も、いずれはできると思えた。ところが、その時、突如「こんな旅行はあと何回できるだろうか」という思いに取り付かれた。それと同時に、将来に対する不安と心配が大幅に減った。

年を取れば、将来の可能性は限られ、人生の選択肢は減る。だが、不安も減り、心配も少なくなる。本当の幸せに近づいたのかもしれない。もう少し年を取れば、もっと不安と心配が減るだろう。やっぱり幸せはいつも「明日」である。

(2)

友達運のいい人に、真に幸福な人である。財産をめぐられるよりも、名誉を授けられるよりも、そのほか、いかなる利益を与えられるよりも、いい友達を持ったほうがほんとうの人間らしい。

同じ国、同じ年ごろ、同じ研究をする人たちの間でも、真の友達を得ることは容易なことではない。まして、国籍がちがい、風俗習慣もまた趣味も異なった人たちの間に真の友達を得ることは、もっと困難である。こう考えるとき、私たちが今、この日本語学校で世界各国の学生たちと共に勉強できるということは、また、広く世界各国の学生たちとほんとうの意味の友達としておつきあいできるということは、このうえない喜びと言わなければならない。